

議案第20号

東久留米市スポーツ推進委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和5年6月1日提出

東久留米市教育委員会
教育長 片柳 博文

委嘱者

氏名	住所	委嘱日	理由	専門分野
つのり みきこ 津乗 美希子	東久留米市南沢	令和5年6月2日	欠員補充	テニス

(提案理由)

欠員である東久留米市スポーツ推進委員を委嘱する必要がある。

東久留米市スポーツ推進委員 名簿 (案)

	ふりがな 氏 名	住 所 (町名)	継 続 / 新 任	専 門 分 野
1	やまむら た え こ 山 村 妙 子	小平市 花小金井	継 続	レクリエーション
2	まえだ と し み つ 前 田 敏 光	東久留米市 幸 町	継 続	野 球
3	おいかわ と も こ 及 川 友 子	東久留米市 前 沢	継 続	ハンドボール
4	かきた た い ち ら 嘉 喜 田 平	東久留米市 小 山	継 続	野 球
5	やなぎさわ し げ る 柳 澤 繁	東久留米市 南 町	継 続	サッカー
6	ながぬま は る こ 永 沼 治 子	東久留米市 滝 山	継 続	水 泳
7	さいとう と し ゆ き 斎 藤 利 之	東久留米市 本 町	継 続	バスケットボール
8	あ お き す み お 青 木 澄 雄	東久留米市 野火止	継 続	陸 上
9	うらさき と も え 浦 崎 友 恵	東久留米市 前 沢	継 続	スキー
10	まつもと み つ こ 松 本 美 津 子	東久留米市 浅間町	継 続	看護師
11	こぼち し ん ろ う 小 鉢 真 郎	東久留米市 下 里	継 続	野 球
12	そのだ き よ み 園 田 清 美	東久留米市 野火止	継 続	テニス
13	ひらい ち た み 平 井 千 民	東久留米市 前 沢	継 続	卓 球
14	えんどう ふ さ お 遠 藤 房 夫	東久留米市 八幡町	継 続	テニス
15	の だ た か の ぶ 野 田 孝 宣	東久留米市 弥 生	継 続	野 球
16	つちだ けんたろう 土 田 健 太 郎	練馬区 高野台	継 続	サッカー
17	みながわ な お み 皆 川 直 己	西東京市 泉 町	継 続	バスケットボール
18	い け べ て る ひ こ 池 邊 照 彦	埼玉県 所沢市	継 続	社会教育主事 健康運動指導士
19	い と う ゆ か 伊 藤 友 香	東久留米市 南 沢	継 続	バスケットボール
20	はぎわら と も の り 萩 原 朋 典	東久留米市 幸 町	継 続	野 球
21	みなみの は な 南 埜 は な	武蔵野市 緑 町	継 続	陸 上
22	いわまつ や す よ し 岩 松 安 義	東久留米市 前 沢	継 続	ユニカール
23	つ の り み き こ 津 乗 美 希 子	東久留米市 南 沢	新 任	テニス

【任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日】

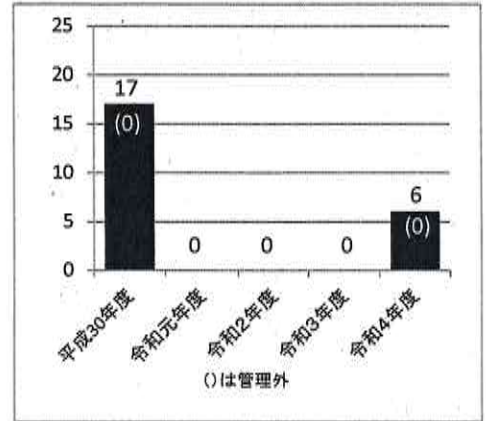
※新委員の任期：令和5年6月2日～令和6年3月31日

【小学校】令和4年度 生活指導上に係る各種調査結果について(過去5年間)

1 暴力行為の発生状況 (事故報告の集計より)

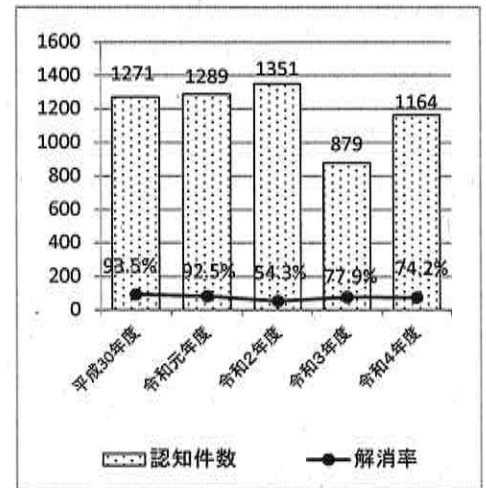
		発生件数	一校あたりの件数	発生学校数	発生学校率
小学校	平成30年度	17(0)	1.31	2(0)	15.3%
	令和元年度	0(0)	0.00	0(0)	0.0%
	令和2年度	0(0)	0.00	0(0)	0.0%
	令和3年度	0(0)	0.00	0(0)	0.0%
	令和4年度	6(0)	0.50	3(0)	25.0%

※発生学校数・発生件数の()内は学校管理外



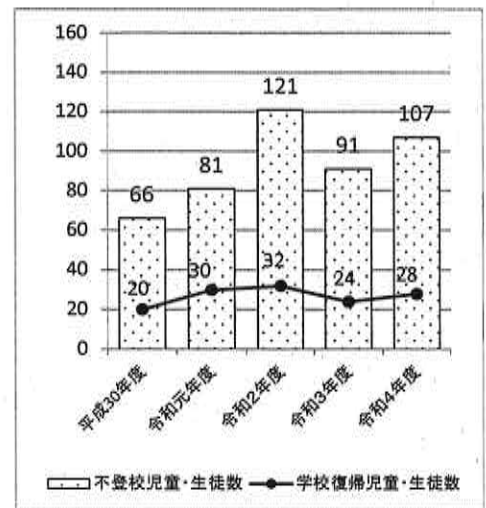
2 小学校におけるいじめの状況 (いじめ指導管理一覧表より)

		認知件数	解決が図れた件数	解消率
小学校	平成30年度	1272	1189	93.5%
	令和元年度	1289	1061	82.5%
	令和2年度	1351	733	54.3%
	令和3年度	879	685	77.9%
	令和4年度	1164	864	74.2%



3 不登校発生状況 (個別支援シート一覧表より)

		不登校児童・生徒数	不登校出現率	学校復帰児童・生徒数	学校復帰率
小学校	平成30年度	66	1.2%	20	30.3%
	令和元年度	81	1.5%	30	37.0%
	令和2年度	121	2.2%	32	26.4%
	令和3年度	91	1.6%	24	26.4%
	令和4年度	107	1.9%	28	26.2%

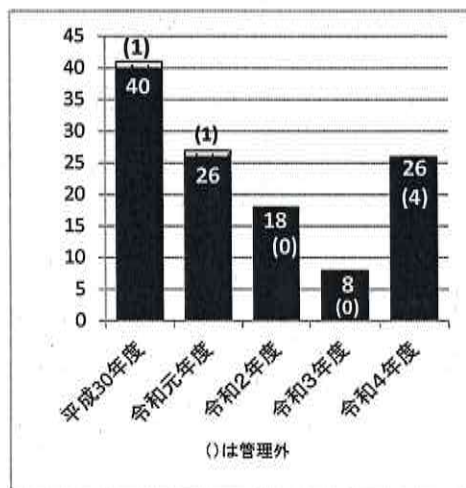


【中学校】令和4年度 生活指導上に係る各種調査結果について(過去5年間)

1 暴力行為の発生状況(事故報告の集計より)

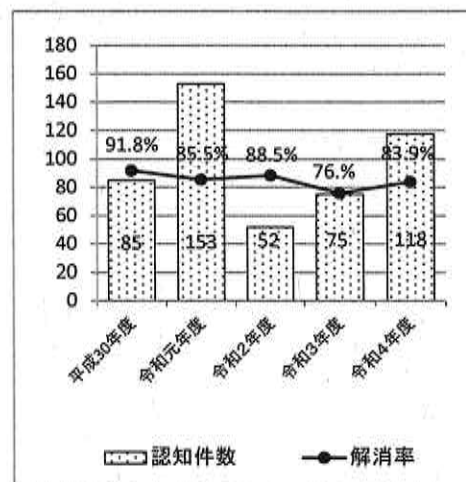
		発生件数	一校あたりの件数	発生学校数	発生学校率
中学校	平成30年度	40(1)	5.71	3(1)	42.9%
	令和元年度	26(1)	3.71	5(0)	71.4%
	令和2年度	18(0)	2.57	4(0)	57.1%
	令和3年度	8(0)	1.14	4(0)	57.1%
	令和4年度	26(4)	3.71	5(1)	71.4%

※発生学校数・発生件数の()内は学校管理外



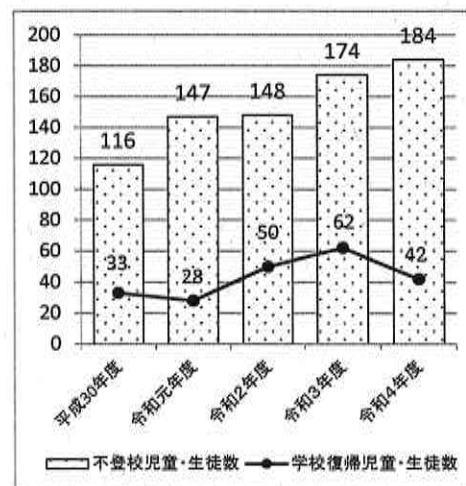
2 中学校におけるいじめの状況(いじめ指導管理一覧表より)

		認知件数	解決が図れた件数	解消率
中学校	平成30年度	85	78	91.8%
	令和元年度	153	134	85.5%
	令和2年度	52	46	88.5%
	令和3年度	75	57	76.0%
	令和4年度	118	99	83.9%



3 不登校発生状況(個別支援シート一覧表より)

		不登校児童・生徒数	不登校出現率	学校復帰児童・生徒数	学校復帰率
中学校	平成30年度	116	4.5%	33	28.4%
	令和元年度	147	5.8%	28	19.0%
	令和2年度	148	5.9%	50	33.8%
	令和3年度	174	6.7%	62	35.6%
	令和4年度	184	7.0%	42	22.8%



令和4年度 東久留米市「学力定着度調査」結果について 正答率分布《市及び全国全体》

1 調査日時

令和5年2月3日(金)

2 調査対象

小学校第2・4・6学年、中学校第2学年

()は全国、**■**は全国平均を上回った分野

「2観点」…「知識・技能」と「思考・判断・表現」

3 調査内容

教科に関する調査(国語、算数・数学)

棒グラフ(左):東久留米市 棒グラフ(右):全国

縦軸:正答出現率(%)

横軸:評定 A10が確定できる Bおおむね満足できる C努力を要する

◆教科別の観点別集計 平均得点率(%)

観点 教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	2観点平均
国語(小2)	81.0(82.8)	66.6(67.2)	80.7(81.2)	73.8(75.0)
国語(小4)	68.0(73.1)	61.6(66.8)	78.0(80.3)	64.8(70.0)
国語(小6)	69.1(72.6)	67.1(70.1)	74.7(78.9)	68.1(71.4)
国語(中2)	64.2(64.2)	64.8(65.1)	73.3(76.1)	64.5(64.7)

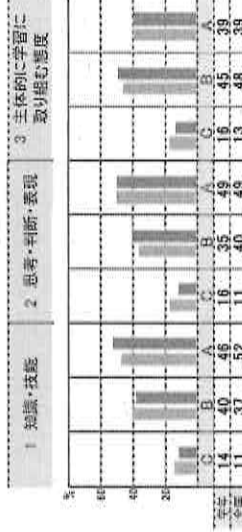
観点 教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	2観点平均
算数(小2)	78.0(80.8)	58.5(65.2)	80.6(82.1)	68.2(73.0)
算数(小4)	63.4(69.8)	46.7(55.3)	79.1(80.7)	55.1(62.6)
算数(小6)	68.2(75.5)	61.1(66.8)	75.2(79.3)	64.6(71.1)
数学(中2)	68.5(70.9)	58.0(58.0)	71.8(76.8)	63.2(64.5)

◆領域別調査結果の平均得点率(%)

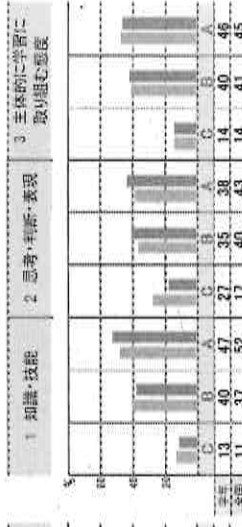
領域 教科	I 話すこと・聞くこと	II 書くこと	III 読むこと
国語(小2)	77.7(78.7)	69.5(71.8)	72.2(72.3)
国語(小4)	72.0(72.8)	53.5(62.9)	65.2(70.8)
国語(小6)	71.7(73.6)	64.2(69.7)	68.2(69.8)
国語(中2)	64.2(62.8)	68.3(70.5)	61.5(60.9)

領域 教科	I 数と計算	II 図形	III 変化と関係	IV データの活用
算数(小2)	73.2(77.7)	59.5(66.9)	—	73.3(75.6)
算数(小4)	62.6(68.0)	56.3(67.9)	37.9(42.6)	54.2(59.3)
算数(小6)	64.9(72.4)	65.3(70.5)	64.6(71.4)	62.2(69.1)
領域 教科	I 数と式	II 図形	III 関数	
数学(中2)	62.0(63.8)	68.7(70.5)	61.7(62.1)	

小2 国語



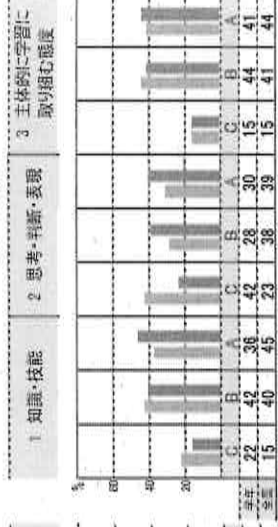
小2 算数



小4 国語



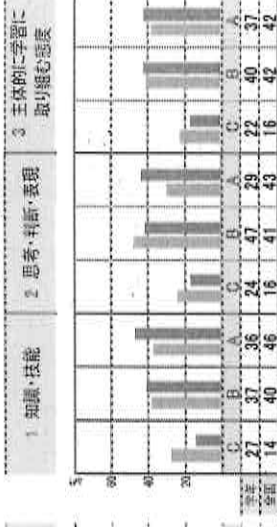
小4 算数



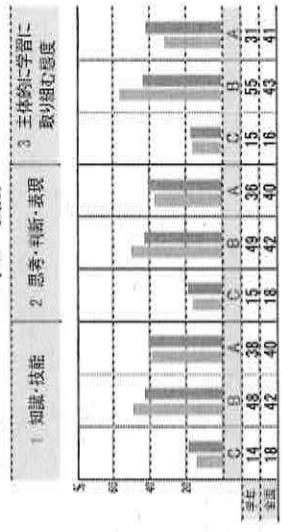
小6 国語



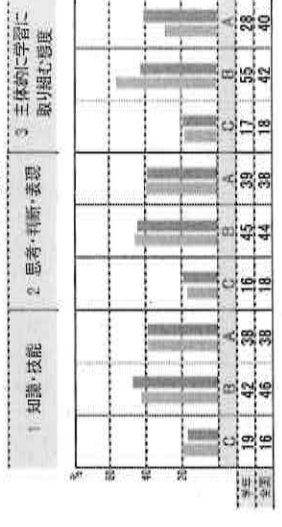
小6 算数



中2 国語



中2 算数



国語

◆2観点の領域別集計

I 話すこと・聞くこと II 書くこと III 読むこと

小2 国語

領域	内容	全国 得点率	全国比	全国との比較
大				高い
中				高い
I	1 構成を考え話し・話し合う	68.7	71.4	96
I	2 大きなことと聞き取る	84.8	84.7	100
I	3 いろいろな言葉で話す	78.5	79.0	99
II	4 事件や順序を考え書く・推察する	60.0	62.8	96
II	5 文や文章を正しく書く	53.5	54.8	98
II	6 漢字の書き・片仮名の書き	88.2	90.7	97
III	7 内容の大枠を捉える・感情の共有	72.5	74.3	98
III	8 重要な語や人物の行動を捉える	63.8	61.9	103
III	9 漢字の読み、主題・話の理解	85.3	87.8	97

小4 国語

領域	内容	全国 得点率	全国比	全国との比較
大				高い
中				高い
I	1 構成を考え話し・話し合う	63.5	64.5	98
I	2 Iとして話す・内容を捉えて聞く	72.7	72.8	100
I	3 接辞の理解・慣用句の理解	81.4	82.5	99
II	4 構成を考え書く・推察する	52.7	53.8	83
II	5 目的に応じて工夫して書く	54.9	60.3	91
II	6 漢字の書き	54.4	63.3	86
III	7 主題を捉え取る・考え感情の共有	72.3	73.4	99
III	8 話題を捉え取って理解する	61.1	68.0	90
III	9 漢字の読み、短歌・俳句など	63.8	71.4	89

小6 国語

領域	内容	全国 得点率	全国比	全国との比較
大				高い
中				高い
I	1 構成を考え話し・話し合う	70.9	73.0	97
I	2 話を聞き内容を捉える	82.9	82.4	101
I	3 敬語	59.1	63.5	93
II	4 構成を考え書く・推察する	58.9	66.0	89
II	5 目的に応じて工夫して書く	68.7	73.2	94
II	6 漢字の書き・熟語の構成	64.7	69.9	93
III	7 主題を捉え取る・感情の共有	62.1	62.5	99
III	8 話題を捉え取って理解する	58.3	62.3	94
III	9 漢字の読み・敬語や慣用語の理解	84.9	84.5	100

中2 国語

領域	内容	全国 得点率	全国比	全国との比較
大				高い
中				高い
I	1 構成を考え話し・話し合う	69.3	69.0	100
I	2 話を聞き内容を捉える	68.7	67.0	103
I	3 慣習の扱い方	54.5	52.3	104
II	4 構成を考え書く・推察する	70.8	73.3	97
II	5 目的に応じて工夫して書く	49.2	54.4	90
II	6 漢字の書き・同訓異字等	77.9	78.2	100
III	7 主題や構成を捉え取る	61.5	60.5	102
III	8 要点をとらえ内容を捉える	70.3	67.7	104
III	9 漢字の読み・慣用語の理解等	57.2	57.7	99

◆主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

小2 国語

項目	学年 得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較
1 教科学習を粘り強く進める態度	7.4	7.4	99	高い
2 教科学習を自己調整しようとする態度	6.7	6.8	97	高い
3 教科学習への興味関心	7.5	7.5	99	高い
4 教科に関する自信	7.6	7.5	102	高い

小4 国語

項目	学年 得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.5	9.8	95	高い
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.3	8.7	93	高い
3 教科学習への興味関心	9.8	10.0	95	高い
4 教科に関する自信	9.8	10.0	96	高い

小6 国語

項目	学年 得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.1	9.5	93	高い
2 教科学習を自己調整しようとする態度	7.9	8.7	87	高い
3 教科学習への興味関心	9.2	9.7	90	高い
4 教科に関する自信	9.6	9.9	93	高い

中2 国語

項目	学年 得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較
1 教科学習を粘り強く進める態度	8.9	9.4	92	高い
2 教科学習を自己調整しようとする態度	7.9	8.5	89	高い
3 教科学習への興味関心	9.1	9.3	97	高い
4 教科に関する自信	9.2	9.3	99	高い

小学校【国語】の結果について

2観点の領域別集計では、低学年の得点率が高く、学年が上ると低くなる傾向が見られる。

領域別にみると、「I 話すこと・聞くこと」の領域は、どの学年もほぼ全国と同等であり、他の領域より平均得点率が高かった。また、「II 書くこと」の領域が最も平均得点率が低く、低学年の段階から課題となっている。

2年生では、中領域で見ると、大きなことを落とさず聞くことや漢字の読み・書きの得点率が高い。「4 事件や順序を考え書く・推察する」「5 文や文章を正しく書く」は、全国と同等ではあるものの得点率が低い。4年生・6年生では、「聞くこと」の得点率が高い一方で、漢字を正しく書くことや目的に応じて文章を書くことに課題が見られ、さらに「4 構成を考え書く・推察する」の得点率が最も低かった。これらのことから、どの学年においても、基礎的・基本的な言語事項を確実に習得させ、日常的に伝えたいことを自分の言葉で表現する言語活動を充実させることが必要である。そのため、ICT機器の活用による授業改善や教科横断型の視点を取り入れたカリキュラムの見直しなどの一層の推進が求められる。

「主体的に学習に取り組む態度」では、どの学年も「2 教科学習を自己調整しようとする態度」の得点率が最も低い。中でも「授業後に振り返る」という設問に対し、否定的な回答が目立つとともに、否定的な回答をした児童は、各領域の得点率が低かった。授業後の振り返りにより、自分は何ができて(分かって)何ができていないか(分かっていなかったか)を児童自身が整理し、児童自身が改善策を考え、次時へ向かうようにするることにより、主体的に学ぶ姿勢をつくる必要がある。

中学校【国語】の結果について

2観点の領域別集計では、おおむね全国と同等であり、全国を上回った項目もある。得点率が低かった項目は「5 目的に応じて工夫して書く」であり、小学校と共通している。とくに、資料を活用して意見文を書く問題や、指定の分量で考えを書く問題の得点率が低かった。

「主体的に学習に取り組む態度」では、「2 教科学習を自己調整しようとする態度」が低く、「目標を立てて取り組む」「授業後に振り返る」の2つの設問に対して、否定的な回答が多かった。日常の授業では、「目標」と「振り返り」を確実に行うとともに、日常場面を含む活用的課題解決問題を取り入れるなど、生徒が主体的に学習に取り組むような授業改善が必要である。

Ⅰ数と式 Ⅱ図形 Ⅲ変化と関係
Ⅳ測定・データの活用

◆2 観点の領域別集計

小2 算数

領域	内容	全国 得点率	全国比 全国100	全国 得点	全国 指数	一級	二級
大 中	Ⅰ 1 数の構成と表し方	85.1	81.7	104	97	高い	
	Ⅰ 2 たし算とひき算	65.9	76.2	86	97	高い	
	Ⅰ 3 かけ算	70.1	76.0	92	96	高い	
	Ⅱ 4 三角形や四角形	59.5	66.9	89	96	高い	
	Ⅲ 5 長さ、かさ	67.9	72.4	94	98	高い	
	Ⅲ 6 時間、単位	76.8	76.3	101	98	高い	
	Ⅲ 7 表やグラフ	81.2	82.0	99	98	高い	

小4 算数

領域	内容	全国 得点率	全国比 全国100	全国 得点	全国 指数	一級	二級
大 中	Ⅰ 1 素数の表し方	76.8	79.0	97	98	高い	
	Ⅰ 2 がわり算と四捨五入	33.6	51.3	65	92	高い	
	Ⅰ 3 わり算	66.9	71.7	93	92	高い	
	Ⅰ 4 小数のしくみとその計算	76.2	77.8	98	98	高い	
	Ⅰ 5 かけ算を用いた式、四角形の性質	55.3	59.4	93	98	高い	
	Ⅱ 6 平行、垂直と四角形、面積	56.9	69.9	81	98	高い	
	Ⅱ 7 角の大きさ	54.8	62.8	87	99	高い	
	Ⅲ 8 割合	37.9	42.6	89	99	高い	
	Ⅳ 9 表と折れ線グラフ	54.2	59.3	91	99	高い	

小6 算数

領域	内容	全国 得点率	全国比 全国100	全国 得点	全国 指数	一級	二級
大 中	Ⅰ 1 分数	58.7	69.6	84	92	高い	
	Ⅰ 2 文字を用いた式	77.3	78.0	99	96	高い	
	Ⅱ 3 線図や柱状図、対称な図形	74.1	76.3	97	96	高い	
	Ⅱ 4 およそその面積、円の面積	57.7	65.8	88	96	高い	
	Ⅱ 5 角柱や円柱の体積	57.9	65.3	89	93	高い	
	Ⅲ 6 比例	61.4	69.8	88	95	高い	
	Ⅲ 7 比	68.4	73.2	93	95	高い	
	Ⅳ 8 代表値、度数分布表と柱状グラフ	74.3	67.8	110	95	高い	
	Ⅳ 9 柱に引ける場合	52.6	70.2	75	95	高い	

中2 数学 Ⅰ数と式 Ⅱ図形 Ⅲ関数

領域	内容	全国 得点率	全国比 全国100	全国 得点	全国 指数	一級	二級
大 中	Ⅰ 1 式の計算	66.1	68.5	96	90	高い	
	Ⅰ 2 連立方程式	56.5	57.5	98	88	高い	
	Ⅱ 3 平行線や多角形の角の性質	76.6	79.0	97	90	高い	
	Ⅱ 4 三角形の合同、証明	62.8	64.1	98	93	高い	
	Ⅲ 5 1次関数	61.7	62.1	99	93	高い	

◆主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

小2 算数

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	一級	二級	全国との比較 全国=100
1 教科学習を粘り強く進める態度	7.4	7.5	97	高い		
2 教科学習を自己調整しようとする態度	6.7	6.9	97	高い		
3 教科学習への興味関心	7.3	7.5	96	高い		
4 教科に関する自信	7.6	7.7	98	高い		

小4 算数

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	一級	二級	全国との比較 全国=100
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.7	9.8	98	高い		
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.6	9.1	92	高い		
3 教科学習への興味関心	9.7	9.8	98	高い		
4 教科に関する自信	10.0	10.0	99	高い		

小6 算数

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	一級	二級	全国との比較 全国=100
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.2	9.6	92	高い		
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.1	9.0	86	高い		
3 教科学習への興味関心	9.1	9.5	93	高い		
4 教科に関する自信	9.7	9.9	95	高い		

中2 数学

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	一級	二級	全国との比較 全国=100
1 教科学習を粘り強く進める態度	8.8	9.4	90	高い		
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.1	8.8	88	高い		
3 教科学習への興味関心	8.7	9.4	90	高い		
4 教科に関する自信	8.9	9.3	93	高い		

小学校【算数】の結果について

2 観点の領域別集計では、どの学年においても全国に近いもの、やや下回る項目が多かった。

2年生では、「2たし算とひき算」の得点率が低く、2位数や3位数の筆算を正しく計算することに加え、筆算の一部を完成させる問題の得点率が低かった。また、「4三角形や四角形」の得点率が低く、三角形や四角形の非平行四辺形を回したり組み合わせたりに考えられることに課題が見られた。4年生では、平行四辺形の性質や作図、複雑な図形の面積の求め方を説明する問題に課題が見られるとともに、四捨五入の範囲を求める問題や一方を基にしてもう一方を倍で表す問題において得点率が低かった。6年生では、分数の除法の計算の仕方を説明する問題、分数倍で表す問題、円の面積や柱体の体積を求める問題、組み合わせの調べ方を説明する問題の得点率が低かった。どの学年においても、計算の理由や仕組みを説明することから、日常の授業で論理的に考える問題に課題が見られることから、日常の授業において、単に答えを求めるだけでなく、計算の根拠や考え方について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」は、学年が上がるにつれて全国指数がやや下がっている。国語と同様に「2教科学習を自己調整しようとする態度」がとくに低い傾向が見られ、「1教科学習を粘り強く進める態度」のうち「主体的に取り組む」についても肯定的回答が少なかった。このことから、日常の学習において、「振り返り」を工夫し、少人数指導やICT機器の活用を通して、習熟に応じて課題を進めることができるようにすることが重要である。

中学校【数学】の結果について

2 観点の領域別集計では、全ての項目において全国と同等である。最も得点率が低かった項目は「連立方程式」であり、問題の場面に合った連立方程式のxが何を表しているかを問う問題であった。また、ある一定の決まりに沿って計算をする問題を話し合っている場面を読み、当てはまる文字式や連立方程式の解を答える問題の正答率が低かった。中学校でも小学校同様に、単に答えを求めるだけでなく、問題の事象や計算について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」では、「2教科学習を自己調整しようとする態度」に加え、「主体的に取り組む」「将来、学んだことが活用できる」の設問についても肯定的な回答が少なかった。